

名家連ニュース

平成 24 年 3 月 19 日 (月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場洋二
TEL/FAX(052) 411-2890 NO. 195 号

みんなねっと(全福連)の要望実現！！ 精神障害者等の家族に対する支援事業継続



♪♪嬉しいニュースです♪♪

全国精神保健福祉会連合会（川崎洋子理事長）は、昨年 12 月 14 日付で厚生労働省に「障害者自立支援対策臨時特例交付金（精神障害者等の家族に対する支援事業）の継続を求める要望書」を提出していました。これを受け、厚生労働省は 3 月 2 日付で各都道府県知事宛に事業を「一部改正（H24 年度継続など）」する通達を発しました。この他に、全国精神保健福祉会連合会では、無年金者の救済等の障害年金問題（昨年 8 月 4 日）や新法に盛り込むべき事項（昨年 11 月 25 日）など積極的に要望活動を展開しています。

また、2 月 8 日には「こころの健康推進議連会長」に「精神障がい者家族の現状と改革のための提言」をまとめ「こころの健康を守り推進する基本法の制定」を要望しています。

♪♪大切なニュースです♪♪



保護者制度・入院制度については「平成 24 年内に結論を得る」ことが閣議決定されており、厚生労働省の「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」の下に設置された「保護者制度・入院制度に関する作業チーム」において、平成 24 年夏頃を目途に検討が進められています。— 長年の切実な懸案問題が動き始めています —

「検討チーム」「作業チーム」には、全国精神保健福祉会連合会、東京の家族が、全国の家族の願いを背負って奮闘しています。「みんなねっと」「インターネット」などで情報を取得し、関心を寄せ合っていきましょう。

厚生労働省 平成 24 年 2 月 20 日の障害保健福祉関係主管課長会議資料より

平成24年度精神障害者アウトリーチ推進事業採択方針等について

平成 24 年度のアウトリーチ推進事業予算（案）は 7.9 億円。

○ 事業の特徴として

①医療や福祉サービスに繋がっていない（中断している）段階からアウトリーチ（訪問を実施） ②精神科病院等に多職種チーム（他業務との兼務可）を設置し、対象者及びその家族に対し支援 ③アウトリーチチームの支援により、診療報酬による支援（訪問看護等）や自立支援給付のサービスへつなげ、在宅生活の継続や病状安定をはかる

○ 対象者は

①受療中断者 ②未受診者 ③ひきこもり状態の者 ④長期入院の後退院し、病状が不安定な者※当分の間は主診断名が統合失調圏、重度の気分障害圏認知症による周辺症状がある者（疑含み）を主たる対象とする

○ アウトリーチチームと地域の関係機関

①保健所、市町村 ②医療機関 ③障害福祉サービス事業所 ④介護保険事業所 ⑤教育機関 ⑥地域自立支援協議会等

